

II  
22

昭和二十一年九月十四日

國語審議會會長 安倍能成

### 辻田幹事殿

左記の通り第十一回總會を開きますから、御多用中恐れ入りますが、ぜひ御出席下さい。御通知いたします。

記

- 一日時 九月二十一日(土)午後三時三十分
- 一場所 文部省大臣次官會議室(四階)
- 一議題 「現代かなづかい(案)について」

とつぜんのお知らせで、まことに御迷惑とは存じますが、一方一欠席者が多くて總會が開けないやうなことがあつてはと存じますので、恐れ入りますが、おくり合はせ御出席下さるやう、特に御願ひ申し上げます。

昭和二十一年九月十四日

國語審議會幹事長 保科 孝一

### 辻田幹事殿

- 一 当日は、簡単な食事の用意があります。準備の都合上、御出欠の有無を御通知いただければ幸に存じます。
- 一 一方一御欠席の場合は、お手数ながら、別紙委任状に記名捺印の上御送附いただきたく、御願ひ申し上げます。

2-

関口 仔

昭和二十一年九月

現代かなづかい

國語審議會

一 このかなづかいは、大作現代語音にもとづいて、現代語をかなで書きあらわす場合の準則をホシたものである。

一 このかなづかいは、並とく現代文のうち、口語作のものに適用する。

一 原文のかなづかいは、ある必要のあるもの、またはこれを變更しがたいものは除く。

表記に関する通則

- 第一 ア列長音は、ア列のかなに列を付けて書く。
- 第二 イ列長音は、イ列のかなにイを付けて書く。
- 第三 ウ列長音は、ウ列のかなにウを付けて書く。
- 第四 エ列長音は、エ列のかなにエを付けて書く。
- 第五 オ列長音は、オ列のかなにオを付けて書く。本則とする。
- 第六 ア列拗音の長音は、ア列拗音のかなにアを付けて書く。
- 第七 ウ列拗音の長音は、ウ列拗音のかなにウを付けて書く。
- 第八 オ列拗音の長音は、オ列拗音のかなにオを付けて書く。本則とする。
- 第九 拗音とあ、ゆすには、わ、り、しを用い、なるべく右下に小さく書く。
- 第十 促音とあ、ゆすには、つを用い、なるべく右下に小さく書く。

第一、例、列は、い、え、お、と書く。は、し助詞の列を除く。

一、おと、いと書くもの

- いど(井戸) いのしし(猪) くわい(悪姑) あい(藍)
- まいら(参ら) いら(居ら)
- いびょう(胃病) けんい(權威) いち(位置) いじん(遺産)
- いじん(委任) たいい(天秤)
- くいき(区域)
- しよくいん(職員) びょういん(病院) といん(余韻) すいどう(水道)
- すいさつ(推察) すいじ(炊事) すいじやく(衰弱) かいぶん(随分)
- い(つ)い(一對)
- ゆいんえ(遺言)
- しんらうい(親類)

二、えと、えと書くもの

こえ(聲) ー え(杖) 下え(杖)  
 うえら(種えら) ちえら(種えら)  
 えとく(會得) ー え(智慧) ちえ(回向)  
 りえ(近衛)  
 りようえつ(詔城)  
 えんさん(遠近) ー ちえん(公園) ー けんえん(犬猿)  
 ちえん(圓) ー ぎえん(御苑) ー えんさ(怨嗟)  
 えんじよ(援助) ー えんざい(冤罪)

三、 じをらと書くもの

らけ(稱) らか(岡) ー ら(魚) ー ら(十)  
 らごら(踊る) らしえる(教へる) ー しられ(養れる)  
 らしい(惜しい) らがしい(とかし) ー あらい(青い)  
 らめい(汚名) らかん(寒寒)  
 らうらう(老公羽)

かおく(家屋)

らんど(温度) ー らん(平穩) ー らん(久遠)

らんりよう(怨霊)

第二、 ろわ、ぐわはがと書くもの

例

一、 くわをかと書くもの

かかく(化学) ー か(貨幣) ー か(花粉)

けつか(結果) ー かし(菓子) ー か(過去) ー か(静けさ)

かじ(大事) ー かもく(護目)

かいぎ(會議) ー かい(繪画) ー かい(後悔)

はかい(破格) ー かい(回教) ー かい(奇怪) ー かい(前決)

かくし(獲得) ー かく(拡大)

かくどう(活動) ー かく(狡猾)

かんげ(款迎) ー かんり(官吏) ー かん(帰還) ー かん(一母)

二、 ぐわをかと書くもの

第三

列がはしり、利と書く  
 べいし (尾深) べしや (臥床)  
 がいこく (外国)  
 いちがつ (一月)  
 べんり (元利) べんりく (丸菓) べんり (懸願)

例

一、列をじしと書くもの  
 あじ (味) じじ (藤) わらじ (草鞋)  
 ねじ (捻) じじ (恥) じじ (糞) じじ (糞)  
 じく (軸) じんち (陣地)  
 じせい (女姓) さくじ (削除) じゅうじん (重注)  
 じゅうじ (住居) よんじゅう (饅頭)  
 ニ、つとをとおと書くもの  
 うり (唄) うり (湯) むり (水)

ゆり (譲) うり (埋) さり (寝)  
 めり (珍) はり (恥) しり (静) まり (先)  
 だり (大豆) 下じょう (頭) えり (茶) けり (茶)  
 列が (圖書)

例 (1) にし、二語の連合によつてまじたり、つは、列、つと書く

はなび (鼻血) ろり (もちい乳)  
 はりめん (緋縮緬) ちか (逆々)  
 女もけ (味噌漬) 女かぶき (三日月)  
 ひきつな (引綱) つね (帝々)  
 いれりえ (入智慧) ちやの女列わん (茶飲茶碗)

例

(2) 同音の連呼によつてまじたり、つは、列、つと書く

ちぢみ(縮む)

ちぢむ(縮む)

つづム(敷)

つづら(菅白龍)

つづく(積く)

つづら(綴る)

第四

ワに発音、ハを田は、ハと書く。たゞし助詞の田は、田と書く、トを本則とする。

例

かわら(瓦) かわ(河) にか(庭)

あらわす(著す) 上れる(廻る) ぶれる(毀れる)

あつたない(洗はない) あつかない(扱はない) うたない(歌はない)

かわいらしい(かわいらしい) くわしい(詳しい) けわしい(険しい)

にわか(俄かに) 市なわち(則ち)

びわ(琵琶) びわ(枇杷)

第五

例

イに発音されるハは、イと書く。

うぐいす(鶯) たい(鯛) はい(灰) さいおけ(言譯)

ついやす(費す) にいづける(平げる) なるい(羽いす)

おもいす(思いす) したがい(従いす)

ちいさい(小さい) こいしい(恵しい)

い(いに(遂に))

第六

例

ウに発音されるハは、ウと書く。

あらう(洗ふ) まう(舞ふ) あう(合ふ) かう(買ふ)

うたう(歌ふ) しなう(寝る) いう(言ふ) くう(食ふ) すう(吸ふ)

ぬう(縫ふ) ゆう(結ぶ) くるう(狂ふ)

あう(争ふ) うけらう(請買ふ) おもう(思ふ)

あやう(危)

第七

オに発音されるハは、オと書く。

例

あおい(葵)

あおい(仰ぐ)

あおる(煽る) たおす(倒す)

第八

エに發音されるへはえと書く。ただし助詞のへは、へと書く  
ことを原則とする。

例

- かえる (蛙) いえ (家) まえ (前) かんがえ (考)
- かえる (帰る) さえする (嗜する)
- すくえ (救へ) むらえ (拾へ)
- さえ (助詞さへ)

第九

オに發音されるほはおと書く。

例

- いよいよ (勢) かお (顔) しお (塩) におい (匂)
- おおかみ (狼) おおやけ (火) こおり (氷)
- こおりぎ (蟋蟀) ほおす (酸漿) ほお (頬)
- ほおのき (朴木) もよおし (催し)
- あおす (直す) くおおせる (尋遂せる) とどおる (滞る) とおる (通る)

第十

ユの長音は、ゆうと書く。

一 いよいよゆうと書くもの

- ゆうじん (友人) ゆうげん (幽玄) ゆうじん (郵便) ゆうわく (誘惑)
- りゆう (理由) しゅう (所有) ゆうぎ (遊戯) ゆうぜん (悠然)
- ゆうりよ (憂慮)

二 いふをゆうと書くもの

- とゆう (都邑)

例

第十一

エ列長音は、エ列のか下にえをつけて書く。

- ねええ (姉さん) ええ (応答の語)

第十二

オの長音は、おうと書く。

例

一 あうをおうと書くもの。

二 わうをかおうと書くもの  
おうか (桜花) ちうおう (中央) おうま (鸚鵡) おうう (奥羽)

三 あふをおうと書くもの  
よおう (弱う)  
おうらい (徭来) こくおう (國五) おうせい (旺盛)  
おうじ (皇子) おうじん (貴金) おうし (横死)

四 はうをおうと書くもの  
おうび (扇) おうみ (近江) おうとつ (凹凸)  
おうぢう (押捺) おうりよく (鴨緑江)

あおう (逢はう) かおう (買はう) まおう (舞はう)  
こおう (強う)

第十三 二 およびゴの長音は、こうごうと書く。

一 かうをこうと書くもの  
こうじ (翹) こうがい (幹) こうべ (神戸)

さこう (咲かう) きこう (聞かう)

こうばしい (かうばしい)  
あこう (東う) ちこう (近う) こう (斯う)

こううん (好運) こうりよ (考慮) ほうこう (方向) しゅこう (酒肴)  
こうすい (香水) こうぎ (講義) こうざん (高山) こうかい (航海)  
こうかく (幸福) こうか (効果) こうつう (交通) こうふく (降伏)  
こうふう (校風) こうい (行爲) けんこう (健康)

二 くわうをこうと書くもの  
こうせん (光線) こうだい (宏大) こうまよう (廣狹)  
こうしよく (黄色) こうぞく (皇族) こうまん (荒天)

三 かふをこうと書くもの  
こうおつ (甲乙) たいこう (太閤) こうかく (岬角)

四 こふをこうと書くもの  
こう (劫)

五 かうをこうと書くもの



第十四

ソおよびソの長音は、そう、ざうと書く。

例

- 一 さうきざうと書くもの  
はなざう (話) ざう (かえざう (返) ざう (敵))
- あざう (浅) くざう (臭)
- さう (然)

- さうじ (掃除) いざう (一) さうが (瓜) さうちざう (早)
- さうい (相) さうこ (倉) じゆうさう (重)
- さうねん (壮) たいざう (体) さうもく (草)
- さうどう (騷) さうどう (争) さうしつ (喪) さうしつ (葬)
- ニ さふきさうと書くもの  
さうろう (候)

- 三 さうわ (神話)
- 三 さうきざうと書くもの  
せいざう (制) ざうしや (藏) ざう (象) しやうざう (肖像)
- 四 さふをざうと書くもの  
ざうきん (雑)

第十五

トおよびドの長音は、とうとどと書く。

例

- 一 たうをとうと書くもの  
とうげ (峠) たうがみ (田)

うとう (打たう) かとう (勝たう) たとう (立たう) いとう (痛う)

かとう (眼) とうけん (刀剣) とうけん (島嶼) とうぼく (討伐) とうぞく (盜賊)

さとう (砂糖) とうせん (当せん) ねとう (熱湯) おうとう (櫻桃)

とうき (陶器) きとう (祈禱) たいとう (追悼)

たふをとうと書くもの とうへん (答弁) とう (塔) とうは (踏破) すいとう (出納)

だうをとうと書くもの とうろ (道路) こうとう (講堂) かいとう (海棠) ぶとう (葡萄)

第十六

の長音は、のうと書く。

一 ちうをのうと書くもの

しのう (死なう) あぶのう (あぶなう)

だいのう (大脳) くのう (苦惱) のうちゆう (囊中)

二 ちふをのうと書くもの

のうにゆう (納入)

三 のふをのうと書くもの

きのう (昨日)

第十七

ホおよびホ、ホの長音は、ほう、ぼう、ほうと書く。

一 ほうをほうと書くもの

ほうけ (皇帝) ほうむる (葬る)

ほうこく (報告) ほうか (邦家) こくほう (國宝)

ほうさく (方策) ほうか (包括) ほうび (褒美)

二 はが (またはほふ) をほうと書くもの

ほうる (投る)

ほうりつ (法律) ほうし (法師)

三 ばうをばうと書くもの

すっぱう (酸っぱう)

四 ばうをばうと書くもの

五 ぼ小 (またはほ小) をぼうと書くもの  
 ぼんぼう (貧乏)

あそぼう (遊ばう) とぼう (飛ばう) はこぼう (還ほう)

ぼうどう (暴動) ぼうけん (冒険) ぼうず (坊主) ぼうぼう (書房)

めつぼう (滅亡) きぼう (希望) ぼうちよう (膨脹)

第十八

モの長音は、もうと書く。

例

まうをもうと書くもの  
 もうける (儲ける) もうす (申す) やすもう (休まう)

たのもう (頼まう) あもう (甘う) せもう (狭う)

もうは (毛髪) もうどう (妄動) もうもく (盲目)

ほんもう (本望) もうまく (網膜)

第十九

ヨの長音は、ようと書く。

例

一 わうをようと書くもの  
 ようか (八日) はよう (早う) ようやく (漸く) ようもう (羊毛)

かいよう (海洋) ようしけ (様式) たいよう (太陽) ようりゆう (楊柳)

二 えうをようと書くもの  
 えうりよう (要領) にちよう (日曜) ようはい (遠拜)

ようげよく (謡曲) ようねん (幼年) ようせう (矢折)

三 えんをようと書くもの  
 こうよう (紅葉)

第二十

ロの長音は、ろうと書く。

例

一 ろうをろうと書くもの  
 いのろう (祈らう) かえろう (帰らう)

くらう (暗う) かりう (半か) ちろう (粗う)

ろうじん (老人) ろうどう (労働) めいろう (明朗)

ろうか (廊下) たろう (太郎)

第三

二 ちんをろうと書くもの  
 ろうそく (蠟燭) きゆうろ (舊臘)

三 およびギョの長音は きゆう、げゆうと書く

例

- 一 きうをきゆうと書くもの  
 おうきゆう (大い) けいゆう (休養) けいゆうりよう (丘陵) えいきゆう (永久)
- 二 きんをきゆうと書くもの  
 きゆうま (急務) きゆうだい (反第) こきゆう (呼吸)
- 三 ぎんをきゆうと書くもの  
 かいきゆう (階級) かんきゆう (感泣) きゆうま (給与)
- 四 ぎんをきゆうと書くもの  
 ぎんにゆう (牛乳)

第二

二 よびジユの長音は しゆう、げゆうと書く

例

- 一 しうをしゆうと書くもの  
 しゆうと (舅) しゆうと (妹)
- 二 あだらしゆう (新し) すずしゆう (淨し)
- 三 しゆうよう (修養) しゆうじん (舟遊) しゆうじん (囚人)
- 四 ゆうしゆう (優秀) しゆうびよう (就業) しゆうにゆう (收入)
- 五 しゆうき (臭気) けんしゆう (晩秋) ちゆうしゆう (九州)
- 六 しゆうちよ (酋長) しゆうい (同園) こんしゆう (今週)
- 七 しんをしゆうと書くもの  
 しゆうとく (拾得) しゆうちやく (執着) しゆうちゆう (集中)
- 八 しゆうめい (龍名) じんしゆう (練習) へんしゆう (編輯)
- 九 しうをしゆうと書くもの  
 しゆうなん (柔軟) しゆうき (獸類)
- 十 小をしゆうと書くもの  
 しゆう (才) げんしゆう (盡汗) しゆう (什器)
- 十一 ちゆうをしゆうと書くもの

一 じゆうやく (重役) (じゆう) (やく) (重長)

第三十三 千の長音は、ちゆうと書く。

例

一 ちうをちゆうと書くもの

はくちゆう (白書) (ちゆう) (はく)

(鑄造) (ちゆう) (はく)

ちゆうたい (紐帶) (ちゆう) (たい)

うちゆう (宇宙) (ちゆう) (うち)

ちゆうしゆう (抽出) (ちゆう) (しゆう)

せいちゆう (掣肘) (せい) (ちゆう)

第三十四

二 五の長音は、いゆうと書く。

一 ほうをいゆうと書くもの

いゆうわ (采和) (いゆう) (わ)

二 小をいゆうと書くもの

いゆうがく (入学) (いゆう) (がく)

第三十五

ヒョの長音は、いゆう、びゆうと書く。

例

一 いうをいゆうと書くもの

いゆうが (日向) (いゆう) (が)

二 びうをいゆうと書くもの

いゆう (誤謬) (いゆう)

第三十六

リユの長音は、りゆうと書く。

一 りうをりゆうと書くもの

りゆうい (留意) (りゆう) (い)

りゆう (柳) (りゆう)

りゆうこう (流竹) (りゆう) (こう)

二 くりかをりゆうと書くもの

こんりゆう (建立) (こん) (りゆう)

第三十七

キョふよびキョの長音は、きやうと書く。

例

一 きやうをきやうと書くもの

きやうたん (敬嘆) (きやう) (たん)

ねつ (熱狂) (ねつ)

きやうだい (兄弟) (きやう) (だい)

きやうざう (競走) (きやう) (ざう)

きやうたい (鏡台) (きやう) (たい)

きやうりき (強力) (きやう) (りき)

とうきやう (東京) (とう) (きやう)

きやうもん (経文) (きやう) (もん)

こきやう (故郷) (こ) (きやう)

きやうお (飢餓) (きやう) (お)

二 けうをきやうと書くもの

- 三 けふをきまうと書くもの  
 けよう (今日) (ケフ) | けようい (脅威) (ケフキ) | けようい (協力) (ケフリョウ) | けようい (俠氣) (ケフキ)
- 四 げやうをきまうと書くもの  
 しゆげやう (修業) (シユギヤウ) | じんげやう (人形) (ニンギヤウ)
- 五 げうをきまうと書くもの  
 こんげやう (今) (コン) | げやうしゆん (堯舜) (ゲウシユン)
- 六 げふをきまうと書くもの  
 げやうむ (業務) (ゲフム)

第三十八

じよふみびじよの長音は、しやうじやうと書く例

- 一 (やう)を(しやう)と書くもの  
 しやうじ (二重) (シヤウジ) | じやうばい (商賈) (シヤウバイ) | じやうさい (詳細) (シヤウサイ) | じやうたい (員傷) (ジヤウタイ) | じやうか (唱款) (シヤウカ) | じやうらい (將來) (シヤウライ) | じやうい (文章) (シヤウイ)
- 二 せうを(しやう)と書くもの  
 (しやう)せう (小説) (セウセウ) | しやうねん (少年) (セウネン) | しやうそく (消息) (セウソク)
- 三 せふを(しやう)と書くもの  
 こう(しやう) (交渉) (カウセウ) | さいしやう (妻妾) (サイセウ) | しやうけい (捷徑) (セウケイ)
- 四 げやうを(しやう)と書くもの  
 じやうず (上手) (ヂヤウズ) | かんじやう (感情) (カンシヤウ) | じやうたい (狀態) (ヂヤウタイ) | じやうほ (譲歩) (ジヤウホ) | じやうじゆ (成就) (ジヤウジユ) | じんじやう (尋常) (ジンシヤウ)
- 五 げやうを(しやう)と書くもの  
 (しやう) (市場) (シヤウ) | れいじやう (令嬢) (レイヂヤウ) | じやうぶ (丈夫) (ヂヤウブ)
- 六 せうを(しやう)と書くもの  
 (しやう) (餃子) (セウジ) | せうじやう (騒擾) (セウジヤウ)
- 七 せうを(しやう)と書くもの

せんじよう (三條)

八 ぢふをじようと書くもの

ろくじよう (六疊) いちじよう (一帖)

第三十九

千の長音は、ちようと書く。

例

ちやうをちようと書くもの

ちようかい (町合) ちようたん (長短) ちよう (腸)

ちようしゆ (聴取) ちようちん (燈籠) いつちよう (一挺)

ニ まうをちようと書くもの

ちようえん (吊電) ちようるい (鳥類) ちようしやく (朝食)

せんちよう (前兆) ちようし (調子) ちようこく (彫刻)

三 まふをちようと書くもの

ちよう (躑) つうちよう (通牒)

第三十

二の長音は、にようと書く。

わうをにようと書くもの

によう (尿)

第三十一

ヒョぶをびじョの長音は、ひよう、びようと書く。

例

ひやうをひようと書くもの

ひようはん (評判) ひようさく (平仄) たいひよう (大兵)

二 へうをひようと書くもの

ひようり (表裏) にひよう (二儀) とうひよう (投票)

ひよう (豹)

三 ひやうをひようと書くもの

ひようぶ (屏風) ひようげ (病氣) びよう (鉞)

四 へうをひようと書くもの

ひようしや (猫子) 水いひよう (靈廟)

第三十二

シヨの長音は、しようと書く。

例

一 みやうをみあうと書くもの  
 みよういち (明日) (じゆみやう) (毒令) みようだい (名代)  
 みようが (異加)

二 めうをみあうと書くもの  
 みあうぢ (奸狡) みあうぢ (苗字)

第三三 リョの長五日は、りようと書く。

例

一 りやうをりあうと書くもの  
 ぜんりよう (善良) りようほう (両方) りあうど (領土)  
 せいりよう (浄) りあうさ (諒察) ぶんりよう (分量)  
 二 れうをりあうと書くもの  
 りあうり (科理) しゆりりよう (終了) かんりよう (官僚)  
 りよう (寮) せけりよう (叔寢) ぶりよう (無聊)

三 れふをりあうと書くもの  
 りよう (獵)

注意

「ク、カ、」 「グ、ガ、」 および 「ヂ、ジ、」 「ヅ、ズ、」 をいい分け、  
 いる地方に限り、これを書き分けずともさしつかえない。



新旧かなづかい対照表

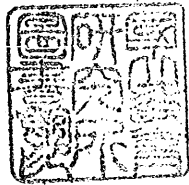
旧かなづかい	ほへふふむほづぢぐわくをえみ
發音	オエオ　ライ　アズ　ジ　カ　カ　オ　エ　イ
新かなづかい	ほえ　ほう　い　わ　ぢ　じ　か　か　お　え　い

旧かなづかい	い　い　い
發音	ユウ
新かなづかい	ゆう

あう、ゆう、あふ	ほう	さう、さふ	かう、くゆう、かふ
ばう	かう、くゆう、かふ	さう、さふ	かう、くゆう、かふ
なう、なふ、のふ	たう	さう、さふ	かう、くゆう、かふ
ほう、ほふ、ほふ	たう	さう、さふ	かう、くゆう、かふ
ほう、ほふ、ほふ	たう	さう、さふ	かう、くゆう、かふ
まう	たう	さう、さふ	かう、くゆう、かふ
やう、えう	たう	さう、さふ	かう、くゆう、かふ
えふ	たう	さう、さふ	かう、くゆう、かふ
らう、らふ	たう	さう、さふ	かう、くゆう、かふ

オオ	ヨオ	モオ	ホオ	ホオ	ホオ	ノオ	ドオ	トオ	ゾオ	ソオ	ゴオ	コオ	オオ
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう	ほう
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----



〔昭和二十二年九月印刷〕

ぢやう、てう、てふ ぬう ひやう、へう ひやう、づう オヤう、めう リヤう、しう、しふ	ちよオ ニョオ ヒョオ ミョオ リョオ	ぢやう によう ひまう ひよう みよう りよう
きやう、けう、けふ きやう、げう、げふ しやう、せう、せふ ぢやう、ぢやう、せう ぢやう、ぢやう	キョオ ギョオ ショオ ジョオ	きやう ぎやう じやう ぢやう
旧かなづかい	発音	新かなづかい

四

きう、きん きう しう、しふ じう、じふ、ぢやう ちう にう、にふ ひう びう りう、りふ	キウ ギウ シウ ジウ チウ ニウ ヒウ ビウ リウ	きう けう しう じう ちう にう ひう びう りう
旧かなづかい	発音	新かなづかい

三